

論語 曼画羅

教科書に載っている論語の各文章について、「曼画羅」を作ろう。「曼画羅」とは、絵と解説と感想などで、その文章を一目見てわかるようにしたものだ。「論語」は長年（二千年以上）日本人が受け継いできた教訓があるので、それを小学4年生が一目見て理解できるようにして、日本人の「心」を次世代に受け継げよう。

【書き方】

- (ア) グループで論語の文章《A》～《L》からできるだけ多くを選んで（班メンバ一人数以上の文章）、用紙に「曼画羅」を記していく。
- (イ) 次のものは必ず入れること。

文章の記号（《A》～《L》）を 中に記す。

白文を写す

書き下し文を記す（小学校4年生が読めるようにふりがなも振ること）。

だいたいの内容（難しく、注意したほうがいい部分はきちんとした口語訳を記す。）

注目する漢字一字（文章の中で、「核」となる漢字一字を選び、どうしてそれが重要なのかを説明する。）

漫画（その文章の内容を小学4年生によくわかるようにマンガで表現する。）

班ナンバー班員の全員の名前は用紙の裏に記す。

【評価方法】

- (ア) 各文章《A》～《L》の最優秀投票で決める。（学年末考査に最もためになると思われるものを選ぶこと。最優秀のものをプリントして配ります。）

- (イ) 小学3～4年生に見てもらい、最も感心したものの、最も受けたもの、最も驚いたものなど、小学生が選んだものを最優秀作品として選出する。

A 子曰、学而时之習、不亦説乎。：

子曰はく、学びて時に之を習ふ亦説ばしからずや。……

～ の番号は書く必要ない。

学

「まねる」こと。人のいいところをまねします……

